

石鎚山系魅力発信事業

【平成30年度予算額 21,287千円】

○総合戦略における・KPI

登山者 目標値 平成31年度 58,000名 ※平成27年度50,000人

●目的

平成28年からは8月11日を「山の日」とする法律が制定され、今後、石鎚山系に県内外からの観光客の増加が見込まれることから、石鎚山の素材を生かし更なる誘客を図るため、広域連携の強化、行政の枠を超えた正確な登山道等の情報発信、登山道・案内標識等の整備などが求められる。これら石鎚山の魅力の情報発信や受け入れ環境整備を継続して促進することで、山岳観光の振興による地域の活性化を図る。

また、地方創生推進交付金を活用し、石鎚山系のプランニング及び資源の保全を実施することにより、更なる誘客の増加を図るとともに、石鎚山系を持続可能な資源とする。

石鎚山系の魅力発信(21,287千円)

《広域連携事業(17,736千円)》※石鎚連携事業負担金、旅費等含む。

地方創生推進交付金を活用し、石鎚山系周辺の地方自治体(西条市、久万高原町、いの町、大川村)が枠を超えた情報発信及び石鎚山系のプランニング及び資源の保全を実施することにより、更なる誘客の増加を図るとともに、石鎚山系を持続可能な資源とするため、協議会を立ち上げ各種事業(登山者等観光動向調査、縦走体験コース実証、サイクリングコース開発、安全対策検討、登山道整備など)に取り組む。

《ライブカメラ設置による情報発信(1,472千円)》※設置・保守、使用料等含む。

石鎚山成就外1箇所ライブカメラを設置し、その映像を石鎚ふれあいの里等の観光拠点施設や市HPで見られることで天候や紅葉状況などリアルタイムの情報発信を行う。

《広域連携によるパンフレット作成(182千円)》

西条市、久万高原町、いの町、大川村が連携し作成した石鎚とりっぶが好評であるため、増刷を行い、なお一層のPRを図る。

《登山道情報モニター配置等環境整備(1,502千円)》

※モニター、登山道等修繕関係含む。

登山道や案内標識等の情報を迅速に把握するために登山道情報モニターを配置。平成28年度から実施している。

委嘱期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日(4～11月に月1回の巡視を想定)

委嘱者:9名

《瓶ヶ森避難小屋管理(395千円)》

※トイレ点検、チップ、修繕関係含む。

建築後60年以上が経過し、倒壊の恐れがある瓶ヶ森ヒュッテの一部を取り壊し、新たに避難小屋とトレイを整備した。それら施設の良好な維持管理を行い、登山者等の安全確保と利便性向上を図ることで、登山者の更なる誘客を図る。

●今後の取組み

《石鎚連携事業》

石鎚山系連携事業協議会の、各分科会(企画情報、登山、サイクリング、環境安全対策分科会)において各種事業への取り組み内容、スケジュールを検討し、実施していく。